

平成27年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会議事録

1 日 時 平成27年7月22日(水) 午後2時00分～午後4時00分

2 場 所 千葉市教育委員会 第一会議室

3 出席者 (委員)

小川直哉会長、増子みき子副会長、人見博彦委員、岡村太郎委員、小川重夫委員、
五月女重夫委員、谷藤千香委員、深谷康祐委員、山根和子委員
(事務局)

丸島生活文化スポーツ部長、若菜千葉市スポーツ振興財団事務局次長、
安藤スポーツ振興課長、山崎スポーツ振興課長補佐、中村保健体育課長、古山指導主事
木村担当課長補佐、菅野主査、内山主査、竹内主事

4 議 題

(1) 報 告

- ア 平成26年度スポーツ振興事業実績及び平成27年度方針と施策について
- イ 千葉市スポーツ振興計画の進行管理について
- ウ 東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉市の対応について

(2) 議 事

- ア 千葉市スポーツ推進計画の素案について
- イ 千葉市スポーツ推進計画の取組事業について
- ウ 千葉市スポーツ推進計画策定スケジュール(案)

5 議題の概要

(1) 報告

3項目の報告を行った。

(3) 議事

千葉市スポーツ推進計画の素案については、記載内容の一部追記することと決定した。

6 会議経過

開 会 午後2時00分

【司 会】 それでは、定刻になりましたので、ただいまより、「平成27年度第1回千葉市スポーツ推進審議会」をはじめさせていただきます。本日の進行を務めます、スポーツ振興課の山崎でございます。本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっております。なお、本日は傍聴者はありません。

会次第に従いまして、はじめに、委員の紹介としまして、平成27年5月1日をもって、伊原委員が千葉市小中学校体育連盟会長を辞職されたため、スポーツ推進審議会委員を解職し、新委員として、後任の人見様に委嘱いたしましたので、ご紹介いたします。

【人見委員】 人見です。よろしくお願いいたします。

【司 会】 続きまして、小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川 会長】 ご承知のとおり、先日報道でもありましたが、東京オリンピック・パラリンピックの会場となる、新国立競技場がコストの問題、あるいはデザインの問題等でマスコミの批判もあり、計画を白紙に戻すことが決まりました。また、本市におきましては、オリンピックの種目のうち、レスリング、フェンシング、テコンドーの3種目が幕張メッセで開催されることが決定しました。世界のトップアスリートを間近で観る絶好の機会でございます。市民にとっても、また、千葉市のスポーツの振興にも非常に貢献することと認識しております。また、まだ決定はしていませんが、パラリンピックについても、原則的にオリンピック会場で行うこととなっておりますので、この開催についても期待しております。さて、本日は報告事項が3点、議事も3点でございます。委員の皆様から忌憚のない意見を述べていただき、審議していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【司 会】 ありがとうございます。続きまして、生活文化スポーツ部長丸島より、ご挨拶を申し上げます。

【丸 島 部長】 本日はお忙しい中、また風の強い中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。先ほど会長からも話がありましたが、オリンピック競技が千葉市で開催されることが決まり、本日も審議いただくスポーツ推進計画の素案にもオリンピックに関連する事項を新たに盛り込むなどの修正をしております。この推進計画もいよいよ今年度末に策定する予定ですので、引き続き委員の皆様から色々のご意見をいただき、よりよい計画にしていきたいと考えておりますので、本日は忌憚のない御意見をよろしくお願いいたします。

【司 会】 これからの進行につきましては、小川会長にお願いいたします。

【小川 会長】 まず、「議事録署名人」について、先程、司会から説明があったように、本審議会は会議が公開されており、議事録の確定方法については、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思います。よろしいですか。

【各 委 員】 <異議なし>

【小川 会長】 それでは、議事録署名人として、小川重夫委員にお願いしたいと思います。

【小川重夫委員】 <了承>

【小川 会長】 それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。

最初に、報告（1）の「平成26年度スポーツ振興事業実績及び平成27年度方針と施策について」、はじめに、スポーツ振興課よりお願いします。

【事 務 局】 <資料1により報告>

【小川 会長】 次に、保健体育課よりお願いします。

【事 務 局】 <資料2により報告>

【小川 会長】 次に、スポーツ振興財団よりお願いいたします。

【事 務 局】 <資料3により報告>

【小川 会長】 今の報告について、何かご質問はありますか。

【小川重夫委員】 国際千葉駅伝が昨年度を最後に廃止となりましたが、千葉国際クロスカントリー大会やサンスポ千葉マリンマラソンの今後の見通しなどはありますか。

【事 務 局】 サンスポ千葉マリンマラソンにつきましては、参加者から非常にご好評をいただいております。主催者側と協力しながら、継続的に実施していきたいと考えております。また、千葉国際クロスカントリー大会につきましては、当面は例年通り開催していく予定ですが、福岡にも国際大会がございますので、今後どのような位置付けで開

催していくのか、よりよい大会として開催するためには何が必要なのかなど、日本陸連と調整していくことが課題であります。また、国際千葉駅伝につきましては、残念ながら、昨年度の大会をもって廃止となりましたが、これまで非常に有意義な大会でありましたので、非常に残念でなりません。しかしながら、決定したことで、こういった既存の大会や新たなスポーツイベントの開催など、各種競技団体と協力しながら誘致等をしていきたいと考えております。

【岡村委員】資料1の平成27年度のスポーツ振興課の補助金事業の中で、「海洋思想普及事業」として補助金を交付していますが、これは資料3の「海洋スポーツの普及振興及び地域のコミュニティづくりの支援事業」を指すということでしょうか。

【事務局】そのとおりです。

【岡村委員】資料2-2に小・中学生の運動能力調査の結果がありますが、中学校のシャトルランが全国平均より低いという結果で、一昨年も同じような傾向があったかと思えます。向上させる具体的な取組などは何かありますか。

【事務局】具体的には、保健体育の授業の始まりの準備運動で、持久力を付けるために3分間走などを取り入れるなど、各学校の生徒の実態により実施していく予定です。また、こうした取り組みを継続的に行うことにより、シャトルランだけの数値向上だけでなく、体力向上にもつながると考えております。

【小川会長】ほかに質問などありますか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは報告(2)、「千葉市スポーツ振興計画の進行管理について」、事務局よりお願いします。

【事務局】<資料4-1、4-2により報告>

【小川会長】今の報告について、何かご質問はありますか。

【深谷委員】「大学、民間などの施設活用」について、対象となるスポーツ施設の該当がなかったことにより、計画どおり取り組めなかったとのことですが、具体的にはどういうことですか。

【事務局】大学、民間などが保有しているスポーツ施設は本市のスポーツ資源でもありますので、市民に無料で開放して利用できるようにしていただきたいと呼びかけている状況ですが、元々有料で貸出していることや、受入の問題等により、協力を得られなかったということです。また、他都市では学校施設なども有料で貸出しているところもあり、そうした社会状況なども見極めながら、どのような施設活用が望ましいのか検討していきたいと考えています。

【深谷委員】大学側は貸したがっているのでしょうか。

【事務局】大学側は開放については問題ありませんが、どうしても大学側の活動が優先となります。そのため、利用料金の問題だけでなく、計画的な利用も図れず、結果として貸出しが難しいという状況です。

【増子副会長】「若い成人世代の体力づくり」として千葉市プチ体操のパンフレット配布を行ったとありますが、スポーツ指導員が現場に行って指導していくことも必要であると感じました。また、指導者がもう少し地域に入っていかなければいけないと考えます。

【事務局】パンフレットの配布だけでなく、スポーツコーチャーを通じて普及・啓発の教室を開いておりましたが、なかなか人が集まらず、今年度については教室を実施していないという状況です。しかしながら、ご指摘のとおり、配布だけではなかなか浸透

していかないということもありますので、スポーツ推進委員等を通じて浸透させていくための仕組みなどを作っていきたいと考えております。また、映像による配信も有効と考えておりますので、DVD等を活用しての啓発も視野に入れながら、取り組んでいきたいと考えております。

【小川会長】ほかに質問などありますか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは報告(3)、「東京オリンピック・パラリンピックに向けた千葉市の対応について」、事務局よりお願いします。

【事務局】<資料5により報告>

【小川会長】今の報告について、何かご質問はありますか。

【五月女委員】オリンピックに向けて、レセプションや、歓迎に向けた取組などの案はありますか。

【事務局】現時点で具体的な取組は決まっておられません。今後、県と市で連携・協力しながら、おもてなし等を具体化していくこととなります。

【五月女委員】例えばボランティアを募るなど、千葉市の子どもたちや指導者が関われるような方向性があると、スポーツの振興という面でも非常に有益だと思いますので、そのような取組を期待しています。

【小川会長】会場となる幕張メッセがかなり老朽化していて、改修費が相当かかると聞いていますが、県と市でそれぞれ負担していくこととなると思います。これも具体的なことはこれからということですか。

【事務局】県から打診はありましたが、具体的にはこれからです。

【岡村委員】オリンピック種目の3競技が幕張メッセで決まっておりますが、パラリンピックの種目については決まっているのですか。特に千葉市は車椅子スポーツを推進していて、車椅子バスケットなどの大会も開催していますが、こうした種目などは他市で決まっているのでしょうか。

【事務局】パラリンピックの種目につきましては、オリンピックの開催会場と同会場で開催するということが原則としてありますので、車椅子バスケットの競技会場については、オリンピックのバスケットボール会場と同じ場所になる可能性が高いという状況です。

【小川会長】ほかに質問などありますか。

【委員】<なし>

【小川会長】続きまして議事に入ります。議事(1)、「千葉市スポーツ推進計画の素案について」、事務局よりお願いします。

【事務局】<資料6により説明>

【小川会長】今の説明について、質問、ご意見等ありましたらお願いします。

【五月女委員】素案の中に現状としてのスポーツイベントの記載がありますが、先日、幕張でエアレースが開催されましたが、この大会は集客イベントとして非常にいい大会でした。継続的に行っていくのかどうかなどのこともあると思いますが、この大会は千葉市としてどういう位置付けでしょうか。

【事務局】エアレースにつきましては、航空スポーツということが言えますが、千葉市としては集客イベントという位置付であり、幕張メッセで行われている集客イベントと同様のものですので、千葉市のスポーツ推進計画の中で紹介するということは考えておりません。なお、エアレースの開催で非常にたくさんの人が集まったとい

うこともありますので、千葉市として継続的に開催できるよう協議していると伺っております。

【小川重夫委員】意見として申しますが、千葉市には市民ゴルフ場ができて、ジュニアゴルフも盛んになってきました。また、スケート場もありますので、こういう特色も視野に入れて、スポーツ施策に取り組んでいただきたいと思います。

【谷藤委員】東京オリンピックの共同開催都市として決定したということで、推進計画にも盛り込まれていますが、あまりオリンピックに引っ張られすぎないで、オリンピックをきっかけとして、開催競技だけでなく、他の競技の普及啓発を図る等の取組みを実施してほしいと思います。

【事務局】東京オリンピックは2020年に開催となり、このスポーツ推進計画は2024年までの計画となりますので、オリンピックを一過性のものではなく、これをきっかけとして様々なスポーツ施策に取り組んでいきたいと考えております。

【増子副会長】高齢者社会ということで、健康づくりの支援が重要になってきていますが、健康支援課というのがあり、スポーツ推進委員が協力しながらその支援ができればいいと考えております。先日、支援課の職員が推進委員の活動を見に来られました。介護予防を念頭に一緒に何かできないかなと考えています。

【事務局】市の健康部とスポーツ部が一緒になって健康づくりのためにスポーツを実施しているということで、そのためにはまず地域で活動されているスポーツ振興会、スポーツ推進委員の方と協力しながら、スポーツ活動や健康相談等を実施していきたいと考えております。

【増子副会長】民間の病院も健康支援をしたいということで、スポーツ推進委員のスポーツイベントを開催する際に、健康ブースを設けるなど、イベントに参加したいとの話もきています。こうした動きもありますので、スポーツ推進委員だけでなく、病院や健康支援館などが一緒になって、組織化して健康づくりに結びつけるのがいいのではないかなと思いました。

【五月女委員】幕張メッセで世界卓球を開催した際に、ふれあい広場として健康管理のブースなどを出しましたが、オリンピックの際には同じような計画などはありますか。もし、そうした計画があれば、健康支援という面だけでなく、開催競技以外の種目の普及・啓発活動などもできて人がたくさん集まるだけでなく、その誘導等でボランティアを募れば、市民参加にもつながると思います。

【事務局】具体的なものはまだ決まっておりません。ただ、会場地として開催競技だけを普及・啓発するというだけではいけないと考えておりますので、関連イベントとして、市民が参加できるようなものや、新たな種目に触れ合えるようなこと、また、文化イベントも開催できるよう、千葉県と協議、検討していきたいと考えております。また、関連イベントについては首都圏全体で考えるということで、九都県市の会議の中でも文化イベントなどをどうしようかという話し合いをしております。

【小川会長】世界卓球の際は県と市で共同の組織を設置したように記憶していますが、オリンピックについても、県と市が共同の組織を設置する可能性はありますか。

【事務局】可能性としてはありますが、まだ具体化しておりませんので、どうなるかはまだ決まっておりません。

【谷藤委員】数値目標は決定事項ですか。

【事務局】事務局としての提案ですので、まだ決定はしておりません。

- 【谷藤委員】1週間に1回以上スポーツをする人を50%以上にするとのことですが、国では65%以上を目標としていることから、少し低いように感じます。国と同じ指標を定めないといけないというのがあるのかもしれませんが、例えば週に1回まで満たなくとも、年に1回以上の人を増やすとか、頻度が少ない人を増やす目標というものいいのではないかと思います。そうなれば、結果的に週に1回以上スポーツをする人も増えるのではないかと思います。
- 【事務局】現の計画であるスポーツ振興計画では65%以上をすることを目標としておりますが、意識調査の結果では36%と、減少傾向にあります。また、スポーツを取り巻く社会状況を踏まえて、実現可能な数値となると、5年後では50%という数字が適当ではないかとことで、御提案しております。また、年に1回以上する人を増やすことなどについては、スポーツ基本法にて、国のスポーツ基本計画を参照することが明記されており、他政令市においても、週に1回以上する人を増やすことを目標としておりますので、千葉市においても週に1回以上という項目で数値だけ50%と、実現可能な数値にしたいと考えております。
- 【人見委員】数値目標の表記について、スポーツというと、どうしても競技という印象を受けてしまうので、もっと簡単にイメージできるよう、週に1回以上スポーツ・レクリエーションをする人、という表記にすれば、数値目標もより達成しやすくなると思います。
- 【小川重夫委員】オリンピックでレガシーが重要ということが言われていますが、このレガシーというのは開催後も遺産として残すという意味になります。このレガシーの一つとして、スポーツをする人を増やすということが国のスポーツ基本計画に記載されているわけですが、競技スポーツだけでは65%以上という数値は到底達成できないと考えています。そこで、レクリエーション協会として取り組んでいるのは、スポーツをしたことがない人を取り入れようと、スポーツ・レクリエーション指導者養成を行っています。競技スポーツではなく、千葉市プチ体操のように簡単にできる体操やウォーキングなどのレクリエーションスポーツをニューエルダー世代と呼ばれる50代から70代の方を対象に情報発信だけでなく、実際に出向いての活動ができる指導者を養成しようというものです。これは関係団体や行政とも連携しながら取り組んでいるものですので、ぜひそうした活動があるということをお知らせいただきたいと思っております。
- 【事務局】数値目標の文言をスポーツ・レクリエーションに修正いたします。ただし、意識調査結果に関しては、スポーツの定義を競技スポーツだけでなく、レクリエーションとして行う軽運動等も含めておりますので、その結果として数値が低いという状況です。
- 【小川会長】それでは、数値目標の文言については、「週に1回以上スポーツ・レクリエーションをする人」に修正するというところでよろしいでしょうか。
- 【事務局】はい。
- 【小川会長】数値を50%以上とすることについてはいかがでしょうか。
- 【事務局】50%以上というのはあくまでも5年後の目標であって、国の基本計画でも10年間で65%以上にするという目標になっておりますので、本市の計画でも計画満了年にあたる10年後の目標としては65%を掲げていきたいと考えております。
- 【谷藤委員】国の計画の10年後とは平成33年度で、千葉市の計画の5年後とは平成32年度

なので、そこを考えると少し目標数値が低い印象を受けます。そのため、少し視点を変えて、ほとんどスポーツをしていない人を少なくするような目標でもいいのではないかなという意見です。

【事務局】数値目標については、スポーツ基本法の中で国のスポーツ基本計画を参酌することになっており、他政令市においても「週に1回以上スポーツを行う人を増やす」ことを目標としていることから、本市においても同様に週に1回以上スポーツを行う人を増やすとして、ただ数値については設定する以上は実現可能な数値にする必要がありますので、現状が36%であることを考えると、50%が適当だと考えております。

【五月女委員】週に1回以上スポーツを実施することについての基準などはあるのでしょうか。例えば1回を何時間以上とか、プチ体操のようなものも含まれるのか、また、リハビリとしての運動も含まれるのかどうか。もし、こうしたものも含まれるのであれば、デイサービスとかでも運動などを行っているので、数字も変わってくると思うのですが。

【事務局】1日の時間に決まりはありませんが、国の意識調査では、散歩などの軽い運動も含まれています。

【小川会長】それでは、数値目標については「週に1回以上スポーツ・レクリエーションを行う人を50%以上にする。」ということで、委員の皆様よろしいでしょうか。

【委員】<承認>

【小川会長】そのほかに質問などございませんでしょうか。

【岡村委員】今回、新たにオリンピック・パラリンピックに関する事項が盛り込まれましたが、具体的な取組等についてはプロジェクト推進本部にて策定された行動計画がありますので、あまり引っ張られないようにしていただければと思います。

【小川会長】それでは、千葉市スポーツ推進計画の素案について、事務局案を承認されるということによろしいでしょうか。

【委員】<異議なし>

【小川会長】続きまして議事(2)、「千葉市スポーツ推進計画の取組事業について」、事務局よりお願いします。

【事務局】<資料7により説明>

【小川会長】今の説明について、質問、ご意見等ありましたらお願いします。

【増子副会長】スポーツツーリズムの検討とありますが、これはどういう事業でしょうか。

【事務局】スポーツツーリズムとは、スポーツを通じて、観光や合宿など、長期的に滞在してもらい、お金を消費してもらうことで地域活性化につなげるというものです。この先進事例などを調査し、千葉市でも取り入れられるかどうかの検討をしていくものです。

【小川会長】そのほかに質問などございませんでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは、千葉市スポーツ推進計画の取組事業につきましては、承認されるということによろしいでしょうか。

【委員】<異議なし>

【小川会長】続きまして議事(3)、「千葉市スポーツ推進計画策定スケジュール(案)」について、事務局よりお願いします。

【事務局】<資料8により説明>

【小川会長】今の説明について、質問、ご意見等ありましたらお願いします。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは、千葉市スポーツ推進計画策定スケジュール(案)につきましては、承認されるということでよろしいでしょうか。

【委員】<異議なし>

【小川会長】議事については以上となりますが、そのほか何かご質問やご意見などありますでしょうか。

【委員】<なし>

【小川会長】それでは、以上で協議を終了します。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【司会】小川会長、議事進行ありがとうございました。最後に、事務局より連絡がございます。

【事務局】平成27年度第2回の審議会については11月11日(水)を予定しておりますが、確定しましたらご連絡しますので、お忙しとは存じますが、ご出席につきまして宜しくお願いいたします。連絡は、以上です。

【司会】それでは、これをもちまして、「平成27年度 第1回千葉市スポーツ推進審議会」を終わらせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後4時00分